

よりそく

Side by Side

ボランティア活動に参加して

東京 長瀬健太郎

先日大船渡ふれあい隊に参加してきました。9回目のボランティアですが、ふれあい隊に参加するのは初めてです。

私が参加した日は、仮設住宅に住むお母さん達が集会室にそれぞれ手料理を持ち寄り、「昼食とお茶っこ」が開かれていきました。お母さんたちは初めて加わる私を温かく迎えてくれ、芋煮汁やサンマの煮付けなどの手作りの美味しい食事を頂きながら東北弁講座で盛り上がり、心地よい時間を過ごしました。

しばらくするとあるお母さんが突然「広田の黒崎神社で今日四年に一度のお祭りがあるから今から行く」と言いました。あんた達に見せたいと言いました。さってばさ(想いついたらすぐに)で私たちをさっさと車に乗せ、その神社まで連れて行ってくれました。普いたのは(なんと)陸前高田市広田町。黒崎神社の例祭御神幸祭で、22mの梯子を虎舞が登っていく、「根岸梯子虎舞」の奉納が行われていました。

震災の影響で規模は縮小されたものの、高い梯子の上の舞は本当に迫力があり、お母さんたちと過ごした時間とともに最高の思い出となりました。初めて会った見ず知らずのボランティアにすぎない私にこんなに親切にしてもらひ、本当に感謝の気持ちで一杯です。

私はボランティアに来るといつも東北の人たちに勇気づけられます。そして来るたびに自分が前に活動した場所が変わっていくことにも驚きます。毎回楽しみが増えていきます。

毎日誰かが現場に行って活動をしてそれがバトンとなって次につながっている、そのことを常に実感しています。「人の力」ってものすごいパワーですね。

遠野のまごころネットで活動されているボランティアさん、これから冬を迎える、厳しい寒さが続く中での活動となると思います。本当に体調には十分気を付けてください。

まごころの解づくりレポート Vol.7 寄稿: 宮本班長

10月11日「アメをもらったよ」

今日は震災から七ヶ月目、気持ちを改めて作業開始です。この連載を読んで下さっている方々には是非知つてもらいたいことがあります。今日の今まで、第二まごころの郷は遠野まごころネットが呼びかけて作り始めていると思っていました。でも違う



のです。

川の下に「まごころ広場」というまごころネットの常設広場があるので、そこに来ていた東梅(とうばい)さんという地元の方が、自分の所でも仮設住宅があるのでそこにもぜひ同じような広場を作りたいと言われたのが始まりでした。東梅さんが親戚の土地で休耕地があるということで紹介して下さり今の場所に決まりましたとのことです。地元の店の熱意で生まれた第二まごころの郷、ぜひとも完成させたいです。

嬉しいことが一つ、作業をしていると女性が2人「黄色いのが見えたので見に来た」と言いアメをくれました。いつも地元の方とは挨拶くらいしかできていなかったのでとても嬉しかったです。

10月12日「ススキと格闘しています」

今日は15人で作業、いよいよ一番の難関、ススキが密集している所に挑戦です。一生懸命掘り返し、ベースは順調ですがなにせ数が多い。みんなあつという間にヘトヘトです。それでもなんとか進めています。

今日も嬉しいことが一つ、京都・京丹後市よりカーネーション、フジバカラ等いただきました。ボランティアの方々と共に13時間車に揺られて来たそうです。早速遊歩道区画の一部に植えました。

殺風景だった花壇予定地に緑が映え、美しい。徐々に形ができる楽しみを満喫しています。

10月13日「ナンパ?！」

今日は14人で作業開始。茨城の柳生さんが送ってくれたキャベツ、白菜、サニーレタス、レタス、チコリの苗と一緒に乗り込みました。



作業開始後まもなくご婦人が三人、「何してるの?」と、「仮設住宅に入った人、地元の人の交流の場を作っている」と説明すると「ありがとう、私はそばの仮設にいるから遊びにきてよ」と御招待を受けました。思わず喜んで上りました。

まごころの郷は水が不便で、川まで汲みに行かなければ、と思っていましたが、地主さんが通りがかり「用水路に水を入れたらいいよ、隣の田んぼもいとこの所だから」と言っていただき、水の問題も解決。折り良く脱穀をしていた田んぼの持ち主の方からも快諾をいただき、手洗い、道具洗いの水を確保できました。

昨日は京丹後市から来られた田中さんが花の苗を持って来て下さいましたが、今日来られた京都の方が「うちは昔、水仙の切り花を売っていた、それで私も子供の学費などをまかなっていた。今はもう辞めたけれど、球根がたくさんあるから帰ったら送つてあげる」と申し出してくれました。花が咲いたらきれいやろな、みんなに持つてもらおう、と来春の風景を思い浮かべ盛り上りました。

ススキの株掘りの後はいよいよ頂いた苗の植え付け。岐阜の坂井さん、東京の池田さんという素晴らしいアドバイザーの指導のもと、いよいよ設立。先日完成したモデル区画を再整備しました。草が出来てキャベツの苗を植えると風景が一変。「畑が出来た！」。参加者一同感激です。春はロールキャベツを作つて食べたい。イメージがどんどん湧いて来ます。14日も既に8人の申し込み、力が湧いてきます。